

法人グループ内で提供する食事形態の一元化への取組について

医療法人緑会（小川病院医療技術部、介護老人保健施設みどりの里）と社会福祉法人（特別養護老人ホーム鳴光荘、グループホーム撫養）の言語聴覚士や管理栄養士により法人グループ内で提供する食事形態の一元化への取組について検討しました。



目的

私たちは、法人グループ内で提供する食事形態を一元化し、嚥下状態の応じた食事の提供を可能にすることと、窒息・誤嚥でのインシデント・アクシデントを最小限にすることを目的に今後取り組んでいきます。

検討内容

これまでの窒息・誤嚥などのインシデント・アクシデントについて再検討を行い、形を崩さずに味や食感を担保することの難しさや、各種調味料で味付けの工夫をした調理についてのアイデアを共有しました。病院や介護施設で使用する栄養補助食品の一元化や施設間の連絡方法についても意見交換を行いました。検討の結果、今後も病院や介護施設職員の協力のもと予想外の事態に対応できる安全対策を講じていくこととなりました。



食べることの楽しみ



私たちは、季節ごとに味わえる行事食といった食べることの楽しみを安全に実現していくために今後も活動していきます。

